



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社いつも

コード番号 7694

URL <https://itsumo365.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 守

問合せ先責任者(役職名) コーポレート本部 グループリーダー (氏名) 石綿 誠 (TEL) 03-4580-1365

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (オンライン配信)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,285	△2.6	△35	—	△80	—	△92	—	△88	—
2025年3月期第1四半期	3,373	10.4	△1	—	△44	—	△48	—	△50	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △88百万円(—%) 2025年3月期第1四半期 △50百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△14.94	—
2025年3月期第1四半期	△8.61	—

(注) 2025年3月期第1四半期及び2026年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

※調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費＋株式報酬費用＋M&Aにかかる取得費用

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,908	2,275	25.5
2025年3月期	8,609	2,363	27.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 2,271百万円 2025年3月期 2,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	15,042	7.9	420	64.2	254	242.4	225	418.9	152	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費＋株式報酬費用＋M&Aにかかる取得費用

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	5,938,452株	2025年3月期	5,937,952株
2026年3月期1Q	8,471株	2025年3月期	8,433株
2026年3月期1Q	5,929,676株	2025年3月期1Q	5,876,504株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復が期待されるもの、米国の関税政策の影響や物価上昇の継続など、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループの事業を取り巻く環境は、株式会社富士経済が公表した「通販・e-コマースビジネスの実態と今後2025」によれば、2024年のEC(物販)市場規模が14.6兆円であったことに對し、2025年の見込みは15.1兆円、2026年は15.4兆円と、着実に成長を続けていくことが予想されております。このため、今後も各ブランド・メーカーが継続的にECビジネス展開に注力していくことが予測され、当社グループにとって事業拡大を見込める良好な環境であると捉えております。一方、多くのブランド・メーカーは、近年のマーケティングの高度化・複雑化や他社との競争激化により「データドリブンな投資判断」、「施策の精度と実行スピード」など一層高いレベルでの戦略戦術が必要とされるほか、生成AI導入などによる事業成果と業務効率化を同時に実現するビジネスモデルの変革にどのように取り組んでいくか等、EC事業拡大においての課題に直面しております。

このような経営環境の中、当社グループは「日本の未来をECでつくる」をミッションとして掲げ、ブランド・メーカーへのEC事業総合支援・D2C及びECプラットフォーム運営を展開してまいりました。加えて、今後の新たな成長事業として期待されるTikTokをはじめとしたソーシャルコマースの領域に對し、戦略的な先行投資を開始しました。当第1四半期は、サービス提供に向けた専門人材の獲得、並びにシステム及びAIへの投資といった社内体制の整備が中心となりましたが、新たな事業の柱として育成してまいります。

Oneコマースサービスにおいては、「データ×テクノロジー×メソッド」を掛け合わせた仕組みの活用により生産性が向上し前年同期比で増収、売上高は680,282千円となりました。

協業ブランドパートナーサービスにおいては、第2四半期以降の複数の新規案件ローンチに向け、ポートフォリオの組替を実施、売上高は2,387,496千円となりました。一方で、新規案件の増加により第2四半期以降は改善の見通しとなっております。

共創・自創バリューアップサービスにおいては、スノーアパレルを主力として販売するビーランは、利益率の向上や新カテゴリー開発(レインウェア)が進展しましたが、競合や天候等の影響で減収減益となり、売上高は170,199千円となりました。

ECプラットフォームサービスにおいては、ライブコマースのプラットフォームである「Peace you LIVE」における手数料収入が前期比で増加し、売上高は47,618千円となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は3,285,597千円(前年同期比2.6%減)、営業損失は80,848千円(前年同期は営業損失44,658千円)、経常損失は92,074千円(前年同期は経常損失48,615千円)、親会社株主に帰属する当期純損失は88,614千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失50,578千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、8,908,036千円(前連結会計年度末比298,498千円増加)となりました。その主な要因は、現金及び預金が410,120千円減少した一方、売掛金が283,183千円、商品が284,568千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、6,632,650千円(前連結会計年度末比386,185千円増加)となりました。その主な要因は、短期借入金が700,000千円減少した一方、買掛金が650,112千円、1年内返済予定の長期借入金103,922千円、長期借入金が292,836千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,275,386千円(前連結会計年度末比87,686千円減少)となりました。その主な要因は、利益剰余金が88,614千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、概ね当初の計画どおり推移していることから、通期の業績予想については、変更はございません。

今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,932,258	2,522,137
売掛金	1,598,749	1,881,932
商品	1,976,647	2,261,216
仕掛品	1,279	3,758
その他	252,458	387,493
貸倒引当金	△30,183	△29,483
流動資産合計	6,731,209	7,027,055
固定資産		
有形固定資産	229,723	218,402
無形固定資産		
のれん	268,811	254,907
その他	298,655	327,092
無形固定資産合計	567,466	581,999
投資その他の資産		
その他	1,081,139	1,080,578
投資その他の資産合計	1,081,139	1,080,578
固定資産合計	1,878,328	1,880,981
資産合計	8,609,538	8,908,036
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,369,091	2,019,204
短期借入金	700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,159,356	1,263,278
未払法人税等	18,639	6,081
賞与引当金	60,754	24,214
その他	531,805	620,134
流動負債合計	3,839,647	3,932,912
固定負債		
長期借入金	2,261,010	2,553,846
資産除去債務	145,807	145,892
固定負債合計	2,406,817	2,699,738
負債合計	6,246,465	6,632,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	754,096	754,106
資本剰余金	742,596	742,606
利益剰余金	863,872	775,258
自己株式	△126	△150
株主資本合計	2,360,439	2,271,820
新株予約権	2,633	3,565
純資産合計	2,363,072	2,275,386
負債純資産合計	8,609,538	8,908,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,373,220	3,285,597
売上原価	2,094,802	2,068,642
売上総利益	1,278,418	1,216,955
販売費及び一般管理費	1,323,076	1,297,803
営業損失(△)	△44,658	△80,848
営業外収益		
受取利息	131	164
助成金収入	1,080	—
雑収入	314	2,027
その他	0	0
営業外収益合計	1,526	2,192
営業外費用		
支払利息	4,281	10,018
支払手数料	1,185	735
その他	15	2,664
営業外費用合計	5,482	13,419
経常損失(△)	△48,615	△92,074
特別利益		
事業譲渡益	—	3,000
特別利益合計	—	3,000
特別損失		
子会社清算損	49	—
事業撤退損	1,035	—
特別損失合計	1,084	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△49,699	△89,074
法人税等	878	△460
四半期純損失(△)	△50,578	△88,614
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△50,578	△88,614

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△50,578	△88,614
四半期包括利益	△50,578	△88,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△50,578	△88,614

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「売上原価」として計上していた費用の一部を「販売費及び一般管理費」として計上しております。

当該変更は、直近における取扱いブランドの多様化及び新規ビジネスの開始並びに当連結会計年度に実施した組織体制の変更とそれに伴うサービス内容の検討の結果、同業他社との比較可能性を高めるために行ったものです。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「売上原価」に表示していた562,210千円を「販売費及び一般管理費」として組替えております。

(セグメント情報等の注記)

当社は、ECワンプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	25,117千円	29,140千円
のれん償却額	15,696千円	13,904千円